

(平成27年6月作成)

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	6119	(H.26)No.	6119
-----------	------	-----------	------

事務事業名	青少年補導センター事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	西山 正彦	

会計区分	事業コード	508503
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	青少年健全育成事業	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 青少年対策費	青少年補導センター事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施 策	3	防犯
	小 施 策	2	青少年の非行防止
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
青少年の非行や犯罪防止、事件・事故から守るための環境づくりを進めています。
事業内容
元教職員の補導員を中心に、関係機関との連携と市民ボランティアの協力により、全的に青少年の補導活動や安全対策、有害環境浄化活動、相談業務の充実に取り組みます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を5名の非常勤補導員が交代で平日毎日実施 報償費330千円 消耗品費106千円 相談業務電話料35千円	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を非常勤補導員が交代で実施	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を非常勤補導員が交代で実施	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を非常勤補導員が交代で実施	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を非常勤補導員が交代で実施

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	470千円	517千円	517千円	517千円	517千円
内 国・県支出金					
内 地方債					
内 その他()					
内 一般財源	(0) 470	517	517	517	517
人工数					
職員	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人	
臨時職員等	3.31人	3.31人	3.31人	3.31人	
②概算人件費	(0千円) 8,252千円	8,252千円	8,252千円	8,252千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 8,722千円	8,769千円	8,769千円	8,769千円	517千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
・地域、学校、市民団体等と連携し、街頭補導、安全パトロール、有害環境浄化等、子どもの安心安全と青少年の非行防止に取り組ましました。 ・学期ごとに、青少年補導センターだよりを発行し、情報啓発にも取り組んでいます。	教育センターとの連携をはじめとする関係機関との連携強化し、相談活動の充実、不審者情報への迅速な対応等に取り組めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	青少年の非行防止活動により、健全な環境づくりに寄与しています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	市民活動団体等と連携し、名張少年サポートふれあい隊活動、有害環境一掃浄化活動等を実施しています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 ・名張市子ども教育ビジョン ・名張市次世代育成支援行動計画
青少年を取り巻く環境が著しく変化中、青少年の非行防止や安全確保の重要性は高まっており、一層の取組強化が求められています。	